⑴　ＸＯＲ＃１
　ＸＯＲ＃１は、ＤＥＬＡＹ＃21から出力されたＤＱ１及び逆適応量子化器から出力されたＤＱを入力して次に示す計算によりＵ１を出力し、これをＵＰＢ＃１に入力する。
ＤＱＳ＝ＤＱ＞＞14
ＤＱ１Ｓ＝ＤＱ１＞＞10
Ｕ１＝ＤＱＳ＊＊ＤＱ１Ｓ
⑵　ＵＰＢ＃１
　ＵＰＢ＃１は、ＸＯＲ＃１から出力されたＵ１、ＤＥＬＡＹ＃11から出力されたＢ１及び逆適応量子化器から出力されたＤＱを入力して次に示す計算によりＢ１Ｐを出力し、これをＴＲＩＧＢ#11に入力する。
ＤＱＭＡＧ＝ＤＱ＆16383

$$UGB1=\begin{cases}128 & :U1=0\text{かつ}DQMAG\neq 0\text{のとき}\\ 65408 & :U1=1\text{かつ}DQMAG\neq 0\text{のとき}\\ 0 & :DQMAG=0\text{のとき}\end{cases}$$

Ｂ１Ｓ＝Ｂ１＞＞15

$$ULB1=\begin{cases}(65536-(B1>>8))\&65535 & :BnS=0\text{のとき}\\ (65536-((B1>>8)+65280))\&65535 & :BnS=1\text{のとき}\end{cases}$$

ＵＢ１＝（ＵＧＢ１＋ＵＬＢ１）＆65535
Ｂ１Ｐ＝（Ｂ１＋ＵＢ１）＆65535
⑶　ＴＲＩＧＢ#11
　ＴＲＩＧＢ#11は、再生信号計算器から出力されたＴＲ、ＵＰＢ＃１から出力されたＢ１Ｐを入力して次に示す計算によりＢ１Ｒを出力し、これをＤＥＬＡＹ＃11に入力する。

$$B1R=\begin{cases}B1P & :TR=0\text{のとき}\\ 0 & :TR=1\text{のとき}\end{cases}$$

⑷　ＤＥＬＡＹ＃11
　７の⑸に示すＤＥＬＡＹ＃１と同等の機能を有する。
⑸　ＦＭＵＬＴ#11
　ＦＭＵＬＴ#11は、ＤＥＬＡＹ＃11から出力されたＢ１及びＤＥＬＡＹ＃21から出力されたＤＱ１を入力して次に示す計算によりＷＢ１を出力し、これをＡＣＣＵＭに入力する。
Ｂ１Ｓ＝Ｂ１＞＞15

$$B1MAG=\begin{cases}B1>>2 & :B1S=0\text{のとき}\\ (16384-(B1>>2))\&8191 & :B1S=1\text{のとき}\end{cases}$$

$$B1EXP=\begin{cases}13: 4096\leqq B1MAG & \text{のとき}\\ 12: 2048\leqq B1MAG\leqq 4095 & \text{のとき}\\ 11: 1024\leqq B1MAG\leqq 2047 & \text{のとき}\\ 10: 512\leqq B1MAG\leqq 1023 & \text{のとき}\\ 9: 256\leqq B1MAG\leqq 511 & \text{のとき}\\ 8: 128\leqq B1MAG\leqq 255 & \text{のとき}\\ 7: 64\leqq B1MAG\leqq 127 & \text{のとき}\\ 6: 32\leqq B1MAG\leqq 63 & \text{のとき}\\ 5: 16\leqq B1MAG\leqq 31 & \text{のとき}\\ 4: 8\leqq B1MAG\leqq 15 & \text{のとき}\\ 3: 4\leqq B1MAG\leqq 7 & \text{のとき}\\ 2: 2\leqq B1MAG\leqq 3 & \text{のとき}\\ 1: B1MAG=1 & \text{のとき}\\ 0: B1MAG=0 & \text{のとき}\end{cases}$$

$$B1MANT=\begin{cases}1<<5 & :B1MAG=0\text{のとき}\\ (B1MAG<<6)>>B1EXP & :\text{その他のとき}\end{cases}$$

ＤＱ１Ｓ＝ＤＱ１＞＞10
ＤＱ１ＥＸＰ＝（ＤＱ１＞＞６）＆15
ＤＱ１ＭＡＮＴ＝ＤＱ１＆63
ＷＢ１Ｓ＝ＤＱ１Ｓ＊＊Ｂ１Ｓ
ＷＢ１ＥＸＰ＝ＤＱ１ＥＸＰ＋Ｂ１ＥＸＰ
ＷＢ１ＭＡＮＴ＝((ＤＱ１ＭＡＮＴ＊Ｂ１ＭＡＮＴ）＋48　＞＞４

$$WB1MAG=\begin{cases}(WB1MANT<<7)>>(26-WB1EXP) & :WB1EXP\leqq 26\text{のとき}\\ ((WB1MANT<<7)<<(WB1EXP-26))\&32767 & :WB1EXP>26\text{のとき}\end{cases}$$

$$WB1=\begin{cases}WB1MAG & :WB1S=0\text{のとき}\\ (65536-WB1MAG)\&65535 & :WB1S=1\text{のとき}\end{cases}$$

⑹　ＸＯＲ＃２
　ＸＯＲ＃２は、⑴において、「ＤＥＬＡＹ＃21」を「ＤＥＬＡＹ＃22」に、「ＤＱ１」を「ＤＱ２」に、「Ｕ１」を「Ｕ２」に、及び「ＵＰＢ＃１」を「ＵＰＢ＃２」にそれぞれ読み替えたものと同等の機能を有する。
⑺　ＵＰＢ＃２
　ＵＰＢ＃２は、⑵において、「ＸＯＲ＃１」を「ＸＯＲ＃２」に、「Ｕ１」を「Ｕ２」に、「ＤＥＬＡＹ#11」を「ＤＥＬＡＹ#12」に、「Ｂ１」を「Ｂ２」に、「Ｂ１Ｐ」を「Ｂ２Ｐ」に、及び「ＴＲＩＧＢ#11」を「ＴＲＩＧＢ#12」にそれぞれ読み替えたものと同等の機能を有する。
⑻　ＴＲＩＧＢ#12
　ＴＲＩＧＢ#12は、⑶において、「ＵＰＢ＃１」を「ＵＢＰ＃２」に、「Ｂ１Ｐ」を「Ｂ２Ｐ」に、「Ｂ１Ｒ」を「Ｂ２Ｒ」に、及び「ＤＥＬＡＹ#11」を「ＤＥＬＡＹ#12」にそれぞれ読み替えたものと同等の機能を有する。
⑼　ＤＥＬＡＹ#12
　７の⑸に示すＤＥＬＡＹ＃１と同等の機能を有する。
⑽　ＦＭＵＬＴ#12
　ＦＭＵＬＴ#12は、⑸において、「ＤＥＬＡＹ#21」を「ＤＥＬＡＹ#22」に、「ＤＱ１」を「ＤＱ２」に、「ＤＥＬＡＹ#11」を「ＤＥＬＡＹ#12」に、「Ｂ１」を「Ｂ２」に、及び「ＷＢ１」を「ＷＢ２」にそれぞれ読み替えたものと同等の機能を有する。
⑾　ＸＯＲ＃３
　ＸＯＲ＃３は、⑴において、「ＤＥＬＡＹ#21」を「ＤＥＬＡＹ#23」に、「ＤＱ１」を「ＤＱ３」に、「Ｕ１」を「Ｕ３」に、及び「ＵＰＢ＃１」を「ＵＰＢ＃３」にそれぞれ読み替えたものと同等の機能を有する。
⑿　ＵＰＢ＃３
　ＵＰＢ＃３は、⑵において、「ＸＯＲ＃１」を「ＸＯＲ＃３」に、「Ｕ１」を「Ｕ３」に、「ＤＥＬＡＹ#11」を「ＤＥＬＡＹ#13」に、「Ｂ１」を「Ｂ３」に、「Ｂ１Ｐ」を「Ｂ３Ｐ」に、及び「ＴＲＩＧＢ#11」を「ＴＲＩＧＢ#13」にそれぞれ読み替えたものと同等の機能を有する。
⒀　ＴＲＩＧＢ#13
　ＴＲＩＧＢ#13は、⑶において、「ＵＰＢ＃１」を「ＵＰＢ＃３」に、「Ｂ１Ｐ」を「Ｂ３Ｐ」に、「Ｂ１Ｒ」を「Ｂ３Ｒ」に、及び「ＤＥＬＡＹ#11」を「ＤＥＬＡＹ#13」にそれぞれ読み替えたものと同等の機能を有する。
⒁　ＤＥＬＡＹ#13
　７の⑸に示すＤＥＬＡＹ＃１と同等の機能を有する。
⒂　ＦＭＵＬＴ#13
　ＦＭＵＬＴ#13は、⑸において、「ＤＥＬＡＹ#21」を「ＤＥＬＡＹ#23」に、「ＤＱ１」を「ＤＱ３」に、「ＤＥＬＡＹ#11」を「ＤＥＬＡＹ#13」に、「Ｂ１」を「Ｂ３」に、及び「ＷＢ１」を「ＷＢ３」にそれぞれ読み替えたものと同等の機能を有する。
⒃　ＸＯＲ＃４
　ＸＯＲ＃４は、⑴において、「ＤＥＬＡＹ#21」を「ＤＥＬＡＹ#24」に、「ＤＱ１」を「ＤＱ４」に、「Ｕ１」を「Ｕ４」に、及び「ＵＰＢ＃１」を「ＵＰＢ＃４」にそれぞれ読み替えたものと同等の機能を有する。